

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(6月9日～6月15日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。6月9日か6月15日までに5069件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは14件でした。野生の山菜での検出が見受けられますが、いずれも出荷制限措置がとられています。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

1. 検査結果の抜粋(6月9日～6月15日に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島県	農産物	150	11		栃木県	農産物	29	0	—
	畜産物	337	0	—		畜産物	1021	0	—
	水産物	137	0	—		水産物	3	0	—
	牛乳乳児用食品	10	0	—		牛乳乳児用食品	2	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	22	0	—		飲料水、その他	0	0	—
宮城県	農産物	61	0	—	群馬県	農産物	17	0	—
	畜産物	127	0	—		畜産物	509	0	—
	水産物	35	0	—		水産物	14	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	26	3			野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	1	0	—		飲料水、その他	2	0	—
茨城県	農産物	14	0	—	千葉県	農産物	26	0	—
	畜産物	150	0	—		畜産物	50	0	—
	水産物	0	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	1	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	1	0	—		飲料水、その他	3	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2017年11月26日	98.9%	1.1%	0.0%
2017年12月 3日	97.6%	2.4%	0.0%
2017年12月10日	99.0%	1.0%	0.0%
2017年12月17日	99.6%	0.4%	0.0%
2017年12月24日	99.1%	0.9%	0.0%
2018年 1月21日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 1月28日	99.4%	0.6%	0.0%
2018年 2月 4日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 2月12日	97.9%	2.1%	0.0%
2018年 2月18日	100%	0.0%	0.0%
2018年 2月25日	98.9%	1.1%	0.0%

2018年 3月 4日	99.3%	0.7%	0.0%
2018年 3月11日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 3月18日	98.6%	1.4%	0.0%
2018年 3月25日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%
2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 6月 1日	100%	0.0%	0.0%
2018年 6月 8日	98.4%	1.6%	0.0%
2018年 6月15日	99.2%	0.8%	0.0%
2017年5月平均	97.3%	2.7%	0.0%

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで156週連続(約3年)となります。福島県の118検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された魚介は1検体でした。

①いわき市<イシガレイ:8.9Bq/kg>

(2)検査について基準を超えたものについて

①福島県で採取されたタケノコについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 福島県猪苗代町:ネマガリタケ(170,120,140,300,110,150,130,190,170,190,200Bq/kg)

福島県猪苗代町で採取されたネマガリタケについては、すでに出荷自粛措置がとられており市中には出回っていません。

②宮城県で捕獲した野生鳥獣について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 宮城県白石市:イノシシ(190Bq/kg)

イ. 宮城県柴田町:イノシシ(110Bq/kg)

ウ. 宮城県大和町:イノシシ(190Bq/kg)

宮城県で捕獲されたイノシシについては、すでに出荷自粛措置が取られているため、市中には出回っていません。

(3)京都の空間線量(6月9日~6月15日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.037~0.041 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.044~0.049 マイクロシーベルト/1時間と

なっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は 0.10~0.11 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.13~0.14 マイクロシーベルト/1時間)と

なっています。

2012年の同時期が0.8 マイクロシーベルト/1時間となっており、今はこの時の10分の1くらいになってきました。しかし 0.1 マイクロシーベルトを下回るところまで来たのは今回が初めてです。過去の平均は 0.038~0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだ高い空間線量となっています。ただ、岐阜県や愛媛県といった日本でも放射線量の高い地域と比較した場合、倍くらいの値となっています。

3. 関連情報

特にありませんでした。

以上